

## 第2回 鹿児島駅周辺土地利用検討委員会 概要

日 時：平成23年11月14日（月） 14時00分～15時50分

場 所：鹿児島市役所 東別館9階 特別中会議室

出席者：【委員】宮廻委員、北崎委員、多々良委員、林川委員、江良委員、  
堀之内委員、白男川委員、内村委員、鮫島委員、春山委員  
計10名（欠席2名）

※委員長が必要と認める委員以外の者の出席（砂田氏）1名

【事務局】都市計画部参事（市街地まちづくり推進課長）、  
市街地まちづくり推進課主幹、同課職員2名

会次第：

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 議事

○第1回鹿児島駅周辺土地利用検討委員会に基づく土地利用の考え方と導入機能（案）について

※事務局より「会議資料」に基づき、①緑のオープンスペース、②市（いち）・集い、③交通結節・駐車場の3つの導入機能を説明。

### 4 意見交換、質疑・応答 ※主な意見は以下のとおり。「→」は事務局。

- ・3つの導入機能等の具体例として、「緑のゲート、竹や雑木による植栽、緑の中の散策路、大人も子供も乗れるミニトレイン、カフェ、コの字型の下屋に囲まれた広場、イベント、市（いち）・フリーマーケット、物産展、地域性植物展示、レストラン、鹿児島の民族芸能展示・実演・伝承、観光案内、桜島展望、親子の木育スペース、緑のパーキング、観光バス泊駐車場、緑で囲まれた駅舎と駅前広場、駅舎から広場へのアクセス、溶結凝灰岩や壁面緑化によるキャノピー」等も考えられる。
- ・長野の小布施では木や植物、石などの素材を生かし、歩道や建物等を整備するなど地域でまちづくりに取り組んでいる。
- ・東京の四谷にある「東京おもちゃ美術館」には九州山地の木や鹿児島産の竹を使った遊具やおもちゃ等があって子供たちが楽しみながら遊んでいる。
- ・住んでいる人にとっても訪れる人にとってもすごくよかったと記憶に残るような場所になってほしい。
- ・隣接するJR貨物の音とサイレンが気になったのでその対策をとってほしい。  
→緑化などにより音や景観の面の対策を検討していく。
- ・緑や駐車場等では防犯対策にも配慮してほしい。

- ・鹿児島駅の駅前広場や桜島フェリーからの検討対象地へのアクセスが分断されているイメージがある。鹿児島駅と路面電車と検討対象地をどのように結び付けてうまく機能させるかが課題である。
  - ・緑は維持管理に費用がかかるのでコスト面にも配慮する必要がある。
  - ・地元の会合での話では、公園や緑よりも集客や定住人口の増加といった意見が多かった。高齢者専用又は二世帯向けの市営住宅による人口増加やバスセンター等による集客を図ることはできないか。
- 現在、人口や世帯数に比べて賃貸住宅を含めた住宅数が大幅に上回って空き家が発生している状況であり、旧5町以外の新しい場所で市営住宅を新設するのは難しい。バスについては駅前広場整備検討の中で停留所の配置等を検討している。
- ・イベント等の広場に防災設備とかトイレの設置を考えられないか。
- 現在当該地を東京にあるような防災公園として位置づけをしていないが、防災面での一つの考え方として今後の整理が必要となる。
- ・上町にはイベント時等に観光客も利用できる広い駐車場がない。西側への自由通路を設置すると利便性は向上するかもしれないが、賑わいにつながるか疑問。
  - ・地域住民が自由に使えるような体育館的な施設や地域の活動拠点となるような交流施設があったらよいと思う。
- 吉野や鴨池地区等のように公民館に併設されている体育館が上町にはないが、別途、全体の中での整理が必要となる。
- ・広場が地域交流とか地域おこしにどれだけ役に立つのかを検討する必要がある。冒頭の具体例は観光客や市民にとってはとても魅力的だと思う。一方で地域住民がどれだけ魅力を感じるかが気になる。また、導入する施設の管理運営について今後詰めていく必要がある。
  - ・資料を見て方向性が素晴らしいと思う。今後、地域の方々との意見交換会では観光客、地域住民など誰のための施設かを分りやすい形で示して理解を得る必要がある。
  - ・旅行会社がお客様を連れて行くのは、駐車場や施設が整っているからではなく、その場所に魅力があったり賑わっていたりすること自体が決め手になる。
  - ・地域の方々とのコミュニケーションにより、よいアイデアを吸収して実行していくための受け皿づくりをしていくような取組をすれば活性化につながり、観光客も増えていくではないか。地域の方々が上町のよいところや美味しい食べ物などを共有して地域の魅力を発信していくとよいと思う。
  - ・鹿児島には盆踊りとか太鼓踊りなどの郷土芸能が多くある。十五夜の綱引きや相撲、南西諸島の島唄など鹿児島ならではの地域の民俗芸能や文化を、住んでいる大人が伝えていかないといけない。鹿児島駅周辺はそういう場所になりえると思う。
  - ・検討対象地の周辺に公園等があることを勘案すると、広場については、ドッグランやフットサル、スケートボード等のスポーツで臨時的に利用できるなど、より特化した目的を持たせてもよいのではないか。駐車場もフリーマーケットの開催など弾力的な使い方を考えても面白い。
  - ・地域住民の視点が弱い。ウォーキング、ジョギング等での日常的な利用と非日常の

利用の両方が可能になったらよい。臨時的な利用ができる自由なスペースがあったらよいと思う。

- ・集客には、ハード面だけではなく、地域の人々の熱意とか創意工夫等のソフト面をどのようにしていくかが大事。
- ・事務局案や冒頭提案された具体例を基本的な方針として、地域住民が愛着をもち、市民、観光客も魅力を感じて訪れるようなものになるよう、今後、地域住民の方々の意見を十分吸い上げて意見交換を進めていってほしい。

## 7 その他

- ・次回開催は2月上旬を予定。

## 8 閉会

以上